

## ★白杵モニターツアー

## (1) 実施概要

【日 程】平成 27 年 11 月 6 日（金）～11 月 8 日（日）

【参加費】無料

【宿 泊】吉四六さん村グリーン・ツーリズム研究会 農泊家庭

【現地対応】うすきツーリズム活性化協議会

【設定料金】50,000 円

【概 要】白杵市野津町では昔から生活の中に竹の存在があった。しかし近年では活用する人々も減少しており、町内の竹林も荒廃が進んできている。猪や鹿の増加の影響で、竹の子が食べつくされてしまい、竹林が消えている地域も生まれている。そのような環境を危惧し、現在グリーン・ツーリズムメンバーを中心に、竹の活用を見直そうという活動が少しずつ広がってきている。さらに野津町の山間部に位置する西神野（にしかみの）地区では、その昔、竹工芸品の製造など竹を収入源としていた歴史もあり、今でもなお地域の人々にとって竹は近く尊い存在である。また竹文化の象徴として、毎年 11 月に開催される竹活用のイベント「うすき竹宵」では、城下町周辺に約 2 万本の竹灯籠が並べられ、幽玄な竹灯りに照らされていた昔ながらの街並みを楽しむことができる。竹イベントとしては全国に先駆けて始めており、竹灯りイベントのパイオニアとなっている。今回の旅では竹を通して様々な文化、そこで生きている地元民の熱い心に触れ、この地域ならではの暮らしを体感できる内容とする。

【目 的】外国人受け入れ体制の可能性を探るため、実際のツアーを想定してモニターツアーを催行する。これまでにつながりのある京都のインバウンド専門旅行会社『日本の窓』にも協力を仰ぎ、送客サイドの意見も参考にしつつ、実際の個人旅行客のツアーに盛り込める内容であるかを確認する。また今回のモニターツアーを通して、地域内での新たな繋がりを構築し、外国人受入のみにとどまらない関係性を築く。

## (2) 参加者ならびに同行者

## ○参加者

国籍	年齢	性別	職業	備考
中国	40	F	旅行会社役員	ファミリー①
イスラエル	12	F	中学生	
イスラエル	7	F	小学生	
ドイツ	46	M	会社役員	ファミリー②
イタリア	44	F	建築士	
ドイツ	12	F	中学生	
ドイツ	9	F	小学生	
オランダ	42	M	会社員	ファミリー③
オランダ	39	F	会社員	
オランダ	7	M	小学生	
オランダ	5	F	幼稚園	

台湾	47	M	日本画家	ファミリー④
台湾	39	F	主婦	
台湾	12	M	中学生	

## ○同行者

- ・小嶋 佳希 氏（白杵市役所 地域振興部 市民生活推進課 総務調整グループ）
- ・福井 隆（東京農工大学 / 日本エコツーリズムセンター理事）
- ・梅崎 靖志（日本エコツーリズムセンター共同代表理事）

## (3) プログラム及び概要

## ◇1 日目（11月6日）

時間	場所	内容・説明など
14:00	ほんまもんの里農業推進センター	<p>参加者集合 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歓迎の言葉、配布資料の確認</li> <li>・エコツーリズムセンターより事業の説明</li> <li>・スタッフの紹介、参加者自己紹介</li> <li>・スケジュール、ツアー目的の説明</li> <li>・白杵市の簡単な紹介</li> <li>・注意事項</li> <li>・吉四六さん村グリーン・ツーリズム研究会農泊家庭の紹介 【吉四六さん村グリーン・ツーリズム研究会】</li> <li>・2002年よりグリーン・ツーリズムの取組を行ってきた地域の任意団体。</li> <li>・メインの取組は農村民泊体験だが郷土料理作りや地域の素材を使ったものづくり体験、農作業体験なども提供している。</li> <li>・平成26年度は年間約1700名の来訪者があり、そのうちの約半分が外国のお客様である。</li> <li>・学生団体の受入も多く、各農泊家庭のオリジナルの体験を提供し、農村の暮らしを来訪者に知ってもらおう取組も行っている。</li> </ul>
15:00	移動	各農泊家庭の車で各自帰宅
15:30	各農泊家庭	<p>各家庭での体験 【竹細工体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの家庭では竹で一輪挿しを作る体験。</li> <li>・2つの家庭は地域で竹細工を行っている広瀬さんという方の元を訪れ、竹ひごの籠作りを体験。広瀬さんは約10年前から竹細工に取り組み始め、別府市などで経験を積んだ方で、現在は趣味の範囲で竹細工に取り組んでいる。</li> </ul>
17:00	各農泊家庭	<p>夕食の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夕食は持ち寄り料理を囲んでの交流会のため、各農泊家庭で郷土料理作り体験を行い、その料理を持ち寄って交流を行う。</li> </ul>

18:00	移動	各農泊家庭の車で交流会会場へと移動
18:30	へもどっちき亭	<p>参加者、農泊家庭が一同に会しての交流会 終盤にはへもどっちき亭のおばあちゃんが舞踊を披露</p> <p><b>【へもどっちき亭】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の会場は農村民泊体験を提供している家庭の1つ。</li> <li>・「へもどっちき亭」とは農泊家庭の屋号。吉四六さん村グリーン・ツーリズム研究会の農泊家庭は各家に屋号を設定している。 「へもどっちき亭」の意味は臼杵の方言を活用した屋号。“へもどる”が“戻る”という意味で、『またいつでもここに帰ってきてね』という意味を込めている。</li> </ul> <p><b>【料理内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柿なます、里芋の煮物、カボチャサラダ、鶏天、白菜鍋、サツマイモケーキなど地元食材と旬の野菜を活用したものがメイン。</li> </ul> <p><b>【へもどっちき亭のおばあちゃん】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在 82 歳で詩吟や舞踊、ゲートボールなど多彩な趣味を持っている。郷土料理も得意。</li> <li>・外国の方が泊まりに来ることを伝えたところ、それならばぜひ踊りを披露したいとのことで、お願いをした。</li> </ul>
20:20	へもどっちき亭	おばあちゃんの舞踊の後に全員で記念撮影 終わりの言葉
20:30	移動	各農泊家庭の車で帰宅
21:00	各農泊家庭	入浴、就寝

◇2 日目 (11 月 7 日)

時間	場所	内容・写真
8:00	各農泊家庭	朝食
9:30	移動	各農泊家庭の車で西神野地区に移動
10:00	西神野地区ふれ愛センター グラウンド	<p>西神野地区の人々と竹を通して交流をする</p> <p><b>【西神野地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臼杵市野津町の山間部に位置する集落。現在は人口約 100 名、高齢化率約 50%。</li> <li>・昔は竹細工や炭焼き、林業で生計を立てていた。竹細工は竹かごなどを製作し、業者に買い取ってもらい、その竹かごは船で関西方面に運ばれていた。</li> <li>・時代の流れと共に、竹かごの製造数は減少し、竹細工の会社も無くなってしまったこともあり、現在は竹かごを作れる人はほぼいなくなってしまった。</li> <li>・西神野地区は獣害被害も多く、猪が竹の子を食べつくしてしまったため、竹林もほぼ消滅してしまった。</li> </ul> <p><b>【西神野地区ふれ愛センター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校となった小中学校の利活用として、数年前に市が整備をした</li> </ul>

		<p>交流センター。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会室、調理室などが整備され、現在では地域の老人クラブの方々の集まりや地区の行事などを行う大事な拠点となっている。</li> </ul> <p>【体験内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西神野地区の人々が各人得意とする体験を提供。</li> <li>・竹箸作り、竹かご作り、竹コップ作り</li> </ul>
11:00	西神野地区ふれ愛センター調理室	<p>竹細工と並行して、地区のお母さんたちと一緒にだんご汁作り、昼食作り体験</p> <p>【だんご汁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分県に伝わる郷土料理。</li> <li>・汁に入れるだんごは小麦粉を練ったもので、この地区ではその団子を細長く手で伸ばして入れる。(きしめんのようなイメージ)</li> <li>・根菜を多く使うため、秋口からよく食べられている。</li> </ul> <p>【昼食作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西神野地区名産の椎茸を西神野地区作った炭で直火焼きにする</li> <li>・竹で作った器に各料理を盛りつける</li> <li>・筒状の竹の中に野津地域で作られた日本酒を入れて火にくべて温める『かつぼ酒』作りも体験</li> </ul>
12:30	西神野地区ふれ愛センター集会室	<p>西神野地区の方々との交流会</p> <p>【交流会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイキング形式で中央に料理を並べ、周りにテーブルを並べて食事をとりながら交流を行う。</li> <li>・野津地域で作られた日本酒も一緒に並べる。</li> <li>・老人クラブの寄り合いなどでも同様の交流会を良く行うとのことで、この交流会では日頃の暮らしの中にある地域の和気藹々とした雰囲気を感じてもらおう。</li> <li>・竹を使った器、竹に入れて温めるかつぼ酒で食事の場面でも竹を利活用。</li> </ul>
14:00	移動	徒歩でふれ愛センターから久保ん谷湧水へ
14:15	熊野神社	<p>久保ん谷湧水へ移動する途中で熊野神社を通過</p> <p>【熊野神社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西神野地区にある地区の方々大切に管理をしている神社。</li> <li>・神社の上部と下部に 2 つ鳥居があり、鳥居から入り、鳥居から出ていくルート。</li> <li>・神社に向かう参道の途中に樹齢約 900 年（地区の人の推測）の大きな杉の木がある。</li> <li>・参道より谷間に流れる川を眺めることができ、とても神聖な空気の中の散策を楽しんでもらう。</li> </ul>
15:00	久保ん谷湧水	<p>久保ん谷湧水にて日本酒とお団子を手に休憩</p> <p>【久保ん谷湧水】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西神野地区に湧き出ている水源。地区の方々の日頃から管理され</li> </ul>

		<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湧水から竹を通して水が流れており、そのまま飲用も可。</li> <li>・湧水の側には川が流れており、浅瀬もあるので、夏の間などは子どもたちの遊び場になるなど、避暑地として親しまれている。</li> </ul> <p>【大吟醸“龍梅”】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野津町の酒造会社「藤居酒造」が作っている日本酒。</li> <li>・久保ん谷湧水の水を利用して作られている。</li> <li>・久保ん谷湧水の水をまず飲んでもらって、日本酒を試飲。</li> </ul>
16:00	移動	タクシーで久保ん谷湧水より臼杵市中心部へ
16:30	臼杵市中心部 竹宵会場	<p>うすき竹宵を散策（フリータイム）</p> <p>【うすき竹宵】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年11月の第一土日に開催されている竹明かりイベントで今年19回目の開催。</li> <li>・大分県では竹灯りイベントがいくつか開催されているが、うすき竹宵は最初に竹ぼんぼりを並べ始めたということで竹灯りイベントのパイオニアとなっている。</li> <li>・竹を切り出して、竹ぼんぼりや竹灯籠をボランティアの方々が作成し、臼杵市内の城下町一帯に約2万本設置して火を灯し、竹灯りに照らされる城下町を楽しめるお祭り。</li> <li>・臼杵に代々伝わる般若姫伝説に基づき、煌びやかな着物に身を包んだ行列“般若姫行列”もみることができる。</li> </ul>
19:30	移動	タクシーで臼杵市中心部より野津中央公民館へ
20:00	移動	各農泊家庭の車で野津中央公民館より農泊家庭に移動
	各農泊家庭	入浴、就寝

◇3日目（11月8日）

8:00	各農泊家庭	朝食
	移動	各農泊家庭の車で野津中央公民館へ移動
9:30	野津中央公民館	<p>アンケート記入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在中の写真をスクリーンに映し、ツアー内容を振り返り。</li> </ul>
10:00	野津中央公民館	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に全員に感想を話してもらう。</li> <li>・その後、臼杵市に滞在してみて気づいた点、今後にかけるアイデアをディスカッション。</li> </ul>
11:30	野津中央公民館	解散

(4) ツアー写真



オリエンテーション



家庭別体験【竹細工体験】



家庭別体験【竹馬遊び】



1日目の夕食準備



1日目の交流会



1日目の交流会料理



1日目交流会での舞踊披露



西神野地区の説明

事業報告 4-4. 白杵モニターツアー



竹かご作り体験



竹コップ作り体験



地元ケーブルテレビの撮影



郷土料理作り体験



椎茸の炭焼き体験



2日目交流会の料理



西神野地区の方々との交流



西神野地区の方々がお見送り



熊野神社入口の鳥居で神社の説明



熊野神社に向かう途中の洞窟



熊野神社に向かう途中の大杉



久保ん谷湧水付近を散策



久保ん谷湧水を直接飲む



湧水を使った地元の日本酒を試飲



久保ん谷湧水で記念撮影



竹宵会場の説明





竹宵会場を散策



3日目の振り返り



農泊家庭とのお別れ



解散後のお見送り

(5) 参加者アンケートから

1.このツアーであなたにとって「この場所で特別なもの」になったことはありますか？

- ・まずなにより、素晴らしい三日間を過ごさせていただき皆さんのおもてなしに感謝いたします。
  - 1、ホストファミリーが素晴らしかった！心からくつろぐことができ、特にうちの子どもたちが本当に楽しんでいました。
  - 2、地元のお食事がおいしかったです！初日の夜は夕食も踊りも、なにかも最高でした。
  - 3、竹ツアー、素敵でした。地元の方々のおもてなし、お昼ごはん。すべてがよかったです。
  - 4、森を通ってお寺を訪れるツアーが楽しかったです。
  - 5、ひとことで言うなら、素晴らしい三日間でした。
- ・私のホームステイのご家族がとても親切で、文化のことを教えてくださいました。この地域では竹をじつにさまざまな方法で利用していて、特産品です。
- ・竹細工、だんご汁作り、ホストファミリー。
- ・今回私は初めてオーガニックな生活を白杵でやってみました。白杵では町なかには感じることのできないなにか特別なものをたくさんいただきました。白杵は素敵な場所でしたのでまた来て楽しく過ごしたいです。ホストファミリーのみなさん、ありがとうございました。
- ・私はホストファミリーのお家において故郷に帰ったような気持ちになりました。たぶん季節の果物、柿や花を見てこのような気持ちになったのだと思います。この初めてのホームステイの経験はとても面白かったです。日本語の学習はとても複雑ですが、ホストファミリーのあたたかい歓迎のおかげで自分の気持ちを日本語で表現することができました。
- ・竹
- ・私にとって一番特別なのは、ホストファミリーからたくさんのお話をうかがうことができたことです。特に踊りも詩を読むこともできる 83 歳の女性の精神には感動しました。

- ・ 5年以上日本に住んで、日本や日本人のことはかなりわかったと思っていました。しかしながら、この場所では簡潔に言えば「真の日本を体験する」ことができます。とてもあたたかく愛情深い雰囲気の中、日本文化と呼べるたくさんものものごとに触れることができました。

## 2. 今回訪ねた場所を友達に薦めたいですか？ そうであれば、どのように紹介しますか？

- ・ 必ず友達に勧めたいと思います。すでにフェイスブックで私の体験してきたことをシェアしました。子どものいる家庭にとってここは休暇を過ごすのに最適な場所です。自然、家族、文化。日本文化を体験できます。
- ・ ホームステイをすると日本語や日本文化が学べること、これは臼杵について勉強できるネイチャーツアーだということをお伝えします。
- ・ フェイスブックや SNS で勧めたいと思います。
- ・ 台湾と日本の友達に、臼杵は良いところで、当地のオーガニックな生活はとても楽しいことを伝えたいです。臼杵には三万人が住み、皆が毎日料理をしていると思いますが、臼杵のことをよく知らない人が多いと思います。(?)
- ・ 私は友達に素晴らしい景色やおいしいオーガニック料理を勧めたいと思います。ですからフェイスブックの日記で次に臼杵に行ってみたい人がいるかを聞き、彼らと共にまた訪れたいです。
- ・ はい、ここは美しい自然、日本の日々の暮らし、そして普通の日本の人々に会える場所であると伝えます。
- ・ 必ず伝えます！ おおげさなアトラクションは期待しないで、そういうものはないから。個人の生活や地域の活動にとっても深く、しっかりと関わるつもりで来てください。この訪問が長いこと心に残るようになる、ちいさなきらめきにたくさん出会えることでしょう。

## 3. このツアーで不自由だったところはありますか？

提供されればよりよくなるサービス、必要のない要素があったら教えてください。

- ・ 街中を歩くツアーがあったらよかったです。見るべきもの、行くべき場所、買うべきものがたくさんあるでしょうから。
- ・ たまに話が長いと感じました。すべての詳細を伝える必要はないかもしれません。日本語があまり話せない家族には、重要単語や写真ののった絵本のような小冊子があれば、互いに理解しあえてよいと思います。
- ・ 自由時間をもう少し短くしてもいいと思う。
- ・ 臼杵については2つのオプションを提案したいです。
  - 1、電車の駅、バス、舟がもっとあればより快適で楽しい旅ができる。
  - 2、買い物のためのスーパーや運動場がもっとあるとよい。
- ・ 日本語をもっと書くことができれば、食べたもののレシピを全部書くことができたのと思います。食事のすべてがおいしかったので、書ければよかった、と。(日本語で読めた方が良いでしょう)
- ・ 待ち合わせ場所までの交通手段が大変だった。
- ・ ホストファミリーのための「おみやげ」を持っていかなかったこと、これがこの旅の私たちの失敗かな。

#### 4. 旅をするとき、どのように情報を集めますか？

出発前と旅行中の主な情報収集の手段を具体的に教えてください。

- ・普通はインターネット、雑誌、友達から情報を集めます。ホテルはブッキングドットコムで予約し、訪問先にはトリップアドバイザーを使います。トリップアドバイザーには吉四六の里を強く勧めたいと思います。里やグリーン・ツーリズムの宣伝になるでしょう。
- ・私は情報を実際体験してみます。ものを作ったり、地元の方と話すのは楽しいです。建造物を見たり、その地域を知っている人たちの話を聞くのが好きです。
- ・人に聞く、体験する
- ・その場所に行ったことのある知り合いに聞きます。また、ホームページやトリップアドバイザー、日本語のガイドのホームページやブログなど、ネットサーフィンでチェックします。もし自分がヨーロッパにいたら、本屋さんで歴史や文化を調べると思います。
- ・人に聞く、調べる
- ・インターネットと旅行ガイドブック、地域のオフィシャルサイトのチェックが主な方法です。
- ・ロコミ、パンフレット類、インターネット

#### 5. 今回のモニターツアーの感想や地域の人へのメッセージ

- ・日本が大好きです。美しく、文化が豊かで親切な方々がたくさんいます。私たちは「文化」「自然」「子どもたちが楽しめる場所」に惹かれます。私たちがお世話になったホストファミリーは子どもたちをととても楽しませてくれました。彼らが言うには「おばあちゃんちみたい」だったそうです。
- ・それぞれの街によって文化がとても異なるということ。言語、日本語を理解すること。
- ・文化、そこに住み人々。
- ・神道。茶室。木造建築。藁ぶき屋根。  
神道のお家にステイして、興味深いお話を聞いたのがとてもよかったです。
- ・文化、道具、歴史
- ・美しい自然と地域の文化
- ・訪れた先やイベントとつながる特別な思い出として自分の中に残るなにかを見たりやったりすること。

#### 6. 今回のツアーの満足度

大変満足：7      満足：1      どちらでもない      不満      大変不満

(6) 現地開催者からの所感 (1~3 はそれぞれに良かった点、悪かった点)

1. ツアーの企画、内容について

【よかった点】

- ・今回は竹宵の時期に合わせた開催となったため、竹をテーマとおいたことはとてもよかった。
- ・これまであまり深く関わることのなかった西神野地区の人々に協力をいただいたことで、新たな繋がりが発生し、今後の臼杵市での取組の幅が広がる可能性がある。
- ・人の温かさを一番に伝えたい部分があり、2泊農泊家庭での農村体験を含めてみたが、予想以上の感動と称賛の意見をいただき、農泊家庭の方々も自信を持つことができた。
- ・ゆとりを持ったスケジュールにしていたため、ツアー中は特に慌てることなく、ゆったりとした臼杵の時間を感じてもらえたのではないと思う。
- ・2日目のうすき竹宵会場ではフリータイムで、会場は人であふれるため、子どもたちが迷子になる可能性があった。そのため子どもたちに迷子カードを持たせて、もし迷子になったときは近くの大人にカードを見せるように説明したところ、実際に迷子になってしまった子が実践していた。そのときはすぐに見つかったが、今後も必要な取組だとの意見があった。

【悪かった点】

- ・解散日に参加者の解散後のスケジュールに余裕がなく、お別れの際にばたばたとなってしまった。
- ・あまり難しい竹細工体験を含めると、教える人数がごく少数になってしまい、参加者の数人は待ち時間が発生してしまうため、切り出しなどの作業からトータルで竹を感じてもらう内容にして、体験内容自体はごく簡単なものにした方が、意義があるように感じた。
- ・竹細工体験の際の危機管理にはより配慮が必要。刃物や機械を参加者が使う際には必ず指導者がそばについて離れないようにするということの徹底が必要。

2. 参加者への広報、集客について

【よかった点】

- ・日本の窓さんに協力依頼をしたところ、快く引き受けていただき、すぐに参加者が集まったため、これまでのつながりを活かすことができた。

【悪かった点】

- ・日本の窓以外の外国人の方々へ情報が届いていたのかが不明。日本の窓さん以外からの申し込みはゼロだった。

3. 当日の運営について

【よかった点】

- ・関係各団体、臼杵市役所の方々の方が全面的に協力してくれて、スムーズな運営が可能となった。
- ・地元タクシー会社とも連携し、移動もとてもスムーズに行うことが出来た。

【悪かった点】

- ・記録を写真のみでしか撮っていなかったため、映像素材がなかった。
- ・西神野地区に到着後に不足物があったため、片道 20 分程かけて買い出しに行くことになってしまった。

## 4. 今後に向けて課題と展望

## 【課題】

臼杵市は素材は十分にあるものの、うまくつなぎ合わせることがまだまだ出来ておらず、それぞれの内容はとても良いとの感想があったが、統一したコンセプト・テーマ設定がまだ確立していない。また、街中には日本語の案内しかなく、駅に着いた外国の方が迷ってしまう恐れがある。

農村民泊についてはとても高評価であったが、忙しくなってしまうとこの良さが薄れてしまう恐れがあるため、忙しくなりすぎないようにとの意見があった。集客と現地の受皿との調整や受入対応の可否判断など、今後ますます重要になると予測する。体験に関しては、プログラム化などされていないため、現時点ではオプション商品としては売り出せていない。

Webでの情報発信はかなり遅れており、せっかく来たのに友達に勧められないとの指摘があった。

## 【展望】

臼杵特有のゆっくりした時間の中で、臼杵の魅力を体感してもらえよう、無理のない受入が出来る体制作りを進めていき、農村民泊に滞在した時には本当の家族と思ってもらえるような心のゆとりを持った受入を大事にする。体験に関しては、季節ごとに応じた一覧表などを作成し、実施可能な条件などを整理して、プログラムとして販売していくように整備を進める。

Webでの情報発信は今後とても重要になると捉え、トリップアドバイザーやFacebookなどをより活用し、実際に訪れた人が口コミを投稿してもらえるように誘導するなど、臼杵の来訪者にも広報面で協力してもらえるようにすることが重要。

今回、さらに繋がりが深くなったインバウンド旅行会社の日本の窓と、今後もより一層連携を図っていき、来訪者のニーズをくみ取った受入態勢を構築。一度訪れた人がまた来たい、ぜひ知人にオススメしたいと感じてもらえるプログラムを日本の窓と協力して作っていくことで、現在の価格設定や内容について、旅行のプロからのアドバイスをもらえる機会を活用する。

記入者：小金丸 麻子（うすきツーリズム活性化協議会）

